WASEDA BUSINESS SCHOOL
早稲田大学ビジネススクール

IRエンゲージメント強化講座

近年、アクティビストと呼ばれる投資家が日本においても存在感を増しており、攻め込まれて対応を迫られる上場企業が続出しています。
早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センターは、こうした状況に鑑みて、平時における防衛線の張り方、すなわち機関投資家の支持を取り付けるエンゲージメントのあり方を中長期の観点から示教するプログラムを開講します。

［集中講義］ 2027年
4月5月 6火 7水

対象 上場企業の
経営企画およびIR担当執行役員
新規事業担当役員
または上述の役員直下の実務担当者

コマ数 各日3コマ（計9コマ）
①9:00-11:30 ②12:30-15:00 ③15:15-17:45

受講料 60万円（税込）
※交通費別　※宿泊は含みません

会場 早稲田大学早稲田キャンパス
26号館7階講義室（対面）

定員 20名程度

目的

本プログラムは、機関投資家と向き合ってエンゲージするに際して求められる前提知識とスキルを一気通貫で育むことを目的としています。投資家種別の基本から、実例に基づく「対話のポイント」までを網羅し、理論と実務の双方から、投資家を説得できる実践力を体系的に養うことを目指します。

3日間の集中講義

DAY 1 対話の相手を知る

株式会社の歴史や投資家が声を上げるようになってきた歴史的な経緯、機関投資家の種別や要求事項といった、IRエンゲージメント強化に不可欠な知識を体系的に学びます。

DAY 2 対話の焦点を知る

日米企業の事例を通して、既存事業および新規事業でEPS成長を実現し、機関投資家に伝わりやすい事業戦略の組み立て方を学びます。

DAY 3 訴求点を作り込む

AI・宇宙など先端テーマから派生する事業機会を紐解き、自社の事業命題を機関投資家へ力強くアピールするのに役立つ実践的な定跡を学びます。

早稲田大学の強み

理論と実務を兼ね備えた一流の講師陣

戦略コンサルティング、投資ファンドなど多様な業界で豊富な実務経験を持ち、様々な企業で社外取締役を務める講師陣が担当します。現場の知見と学術的な深い洞察を組み合わせ、受講者に多角的なインサイトを提供します。

理論と実践を融合させる独自の学習メソッド

「ケース講義・ディスカッション・グループワーク」を効果的に組み合わせ、単なる知識の習得に留まらず、実践的な学びを通じて、即戦力となる経営能力を養います。

日本トップレベルのMBA教育と研修実績

国内トップレベルを誇る早稲田大学MBA（早稲田大学ビジネススクール）教育と密接に連携しています。数多くの企業幹部を対象としたオープン募集型プログラムや、各企業に最適化したオーダーメイド型研修を手掛けてきた育成実績があります。

講師陣



プログラムコーディネーター
三品 和広
早稲田大学
ビジネス・ファイナンス研究センター　研究院教授



鈴木 一功
早稲田大学
ビジネススクール
教授



尾崎 弘之
早稲田大学
ビジネス・ファイナンス研究センター　研究院教授

本プログラムに関するお問合せ先
早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター　エグゼクティブ研修事務局
運営受託：（株）早稲田大学アカデミックソリューション　TEL：03-3208-7866（代表）
E-mail ：exe-edu@w-as.jp　HP：https://www.waseda.jp/fcom/wbf/education/executive